

ひろがる目路

2022/6/16

進路通信

～第2号～

<第1回進路希望調査について>

来週24日（金）に「第1回進路希望調査」を配布する予定です。来月行われる三者面談前に、現時点での御家庭・本人の意向を把握したいと思います。調査用紙を目にすると、本人はもちろんのこと、保護者の皆様も少し緊張してしまうかもしれません。しかし、数か月かけて少しずつ進めていくお話となりますので、まずはゆっくり今後についての話し合いの場をつくってもらえたらと思います。先々第2回、第3回と希望調査は続いていきます。実際に希望先へ足を運んでみることや、保護者の皆様の人生経験を聞くこと、周りからのアドバイスを聞くことなどを通して、生徒自身の気持ちにも変化が生まれ、希望が変わることや場合によっては変えざるを得ないこともあるのが進路です。それぞれの部活動も運動部を中心にラストスパートをかける時期に入っています。そういった意味では、進路のことはまだまだ先の話という思いから、「まだ何も考えていない」、「希望なんて特にない」、「どこでもいい」というような生徒も現段階ではいるかと思えます。具体的に考えるのはもう少し先でも、少しずつイメージが持てたらいいなと感じます。そして、毎日のようにコツコツ自分の時間を費やして頑張ってきた部活動はもちろん最後までしっかりやりきって欲しいと思います。本気で部活動に取り組んでいた人が、引退した後にしっかり気持ちを切り替え、今度は本気で勉強に力を入れて取り組む姿をたくさん見てきました。経験上、そのような「本気の姿勢」をしっかり切り替えて取り組んだ人たちは、夏休み以降めきめきと成果が上がっていたことが多かったように思います。ぜひ、みなさんもそうであってほしいと願っています。

<面接に向けての準備>

「服装の乱れは心の乱れ」といわれますが、これは「時間（ルーズ、集中力がない）」や「言葉遣い（攻撃的である）」でも同じことがいえると思います。最近朝時間にルーズになっている生徒が増えています。「服装も時間も言葉遣い」も、日頃からしっかり躰けられていないと、本番が近くなり「心が乱れ」てしまうことがあります。生徒にそのような兆候が見られたら、心の状態が良くないかもしれません。セルフコントロールができるよう、自律を促していただき、常日頃から心が安定するような声かけをお願いいたします。

今年度まで公立高校の入試に「面接が実施」されます。面接については「調査書の評定（学校の成績の数字）や学力検査（筆記試験）などの数値のみでなく、個性や能力、適性を多面的にとらえ、特性や長所にも着目した面接」を行うことで、ペーパーテストでは測れない内容の把握をする目的があります。評価の観点というものが、

①中学校での教科等に対する学習意欲（国語や数学等どのように取り組んできたか）

②中学校3年間での教科等以外の活動意欲（部活動や委員会、ボランティア、習い事等の活動にどのように取り組んできたか）

③入学希望の理由

以上の3つについては**中学3年間における総合的な意欲を把握するために必ず聞かれます**。それ以外には、「**学校ごとに設定できる観点**」があり、例えば**高校入学後の意欲や将来の展望**などを聞かれることもあります。（※詳しくは7月上旬に県教委から募集要項が配布されるので、そちらを御覧下さい。また、現段階では神奈川県教育委員会のHPでも閲覧できます。）

面接というのは、別の言い方をすると「自分をアピールすることができる場」でもあります。自分が今まで残してきた足跡を振り返ることを、7月から総合の授業の中で少しずつ行っていき、夏休み以降に面接に向けて練習をしていきたいと思えます。